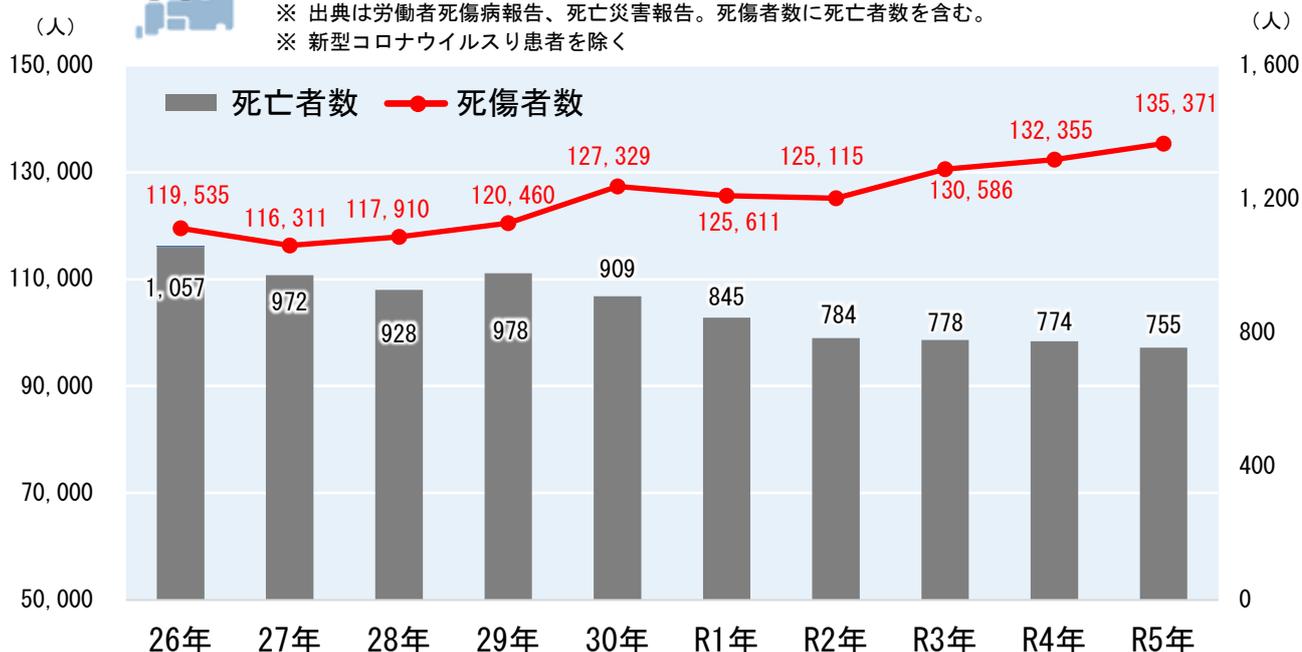


労働災害発生状況



休業4日以上の死傷者数 | 全産業

※ 出典は労働者死傷病報告、死亡災害報告。死傷者数に死亡者数を含む。
※ 新型コロナウイルス患者を除く

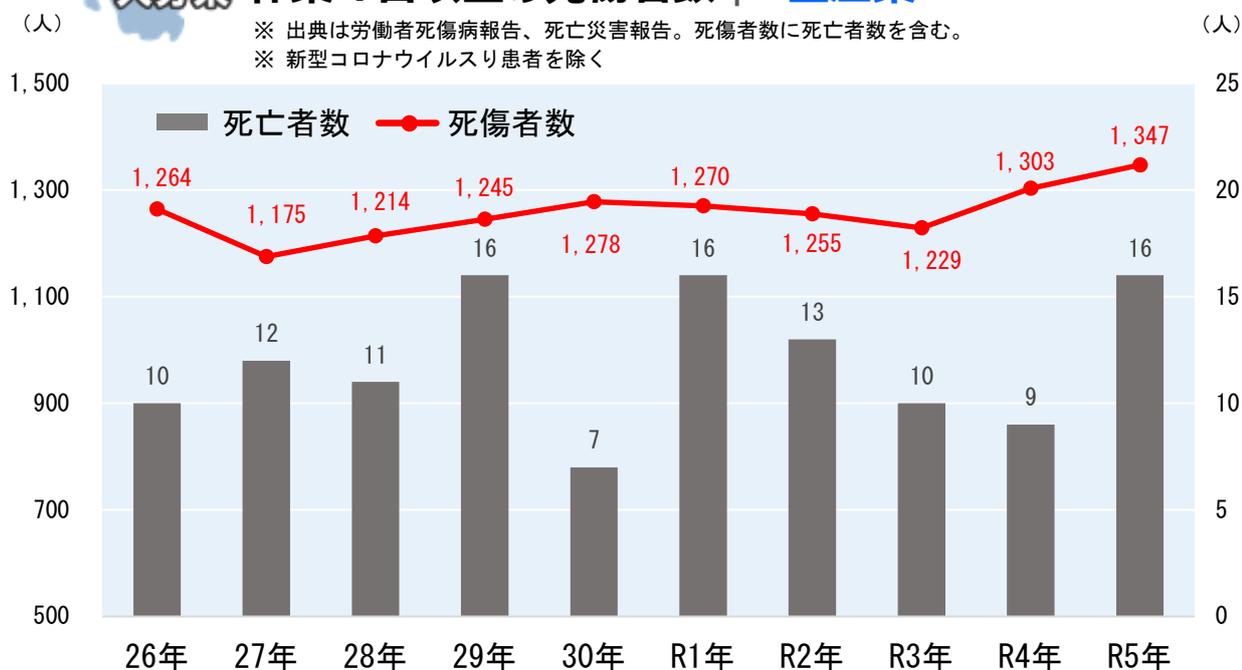


- 令和5年の死亡者数は755人で、前年から19人減少しました。
- 令和5年の死傷者数は、3年連続で増加し（前年比+2.3%）、過去10年間で最多となりました。
- 令和5年の新型コロナウイルス患者（休業4日以上）は、33,637人でした。

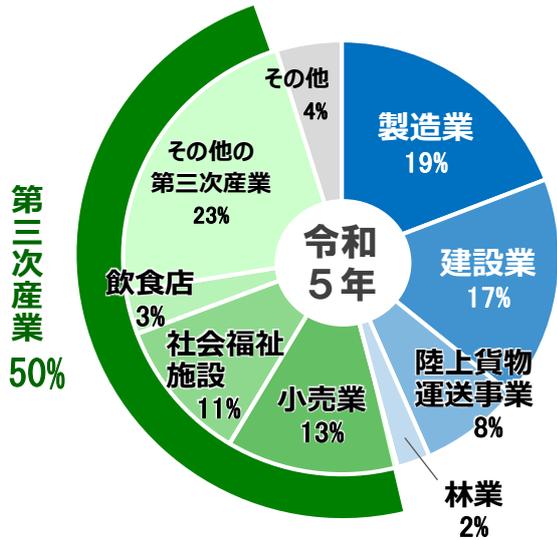


大分県 休業4日以上の死傷者数 | 全産業

※ 出典は労働者死傷病報告、死亡災害報告。死傷者数に死亡者数を含む。
※ 新型コロナウイルス患者を除く

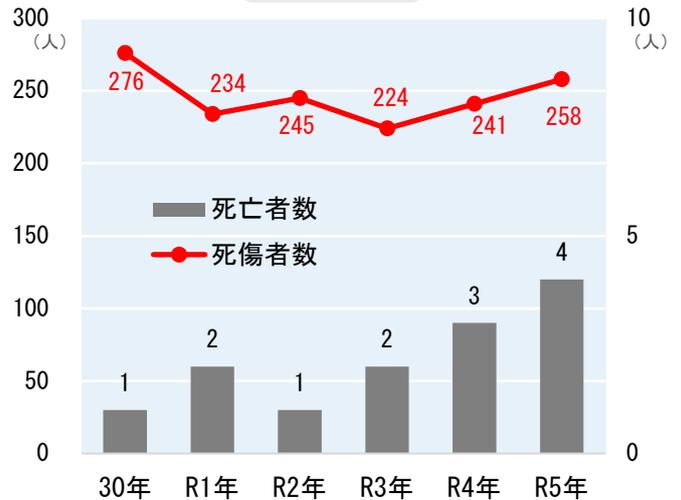


- 令和5年の死亡者数は16人で、過去10年で最多タイとなりました。死亡者の業種内訳は、建設業7人、製造業4人、畜産・水産業3人、商業2人でした。
- 令和5年の死傷者数は、2年連続で増加し（前年比+3.4%）、過去10年間で最多となりました。
- 令和5年の新型コロナウイルス患者（休業4日以上）は、309人（前年比-1,336人）でした。



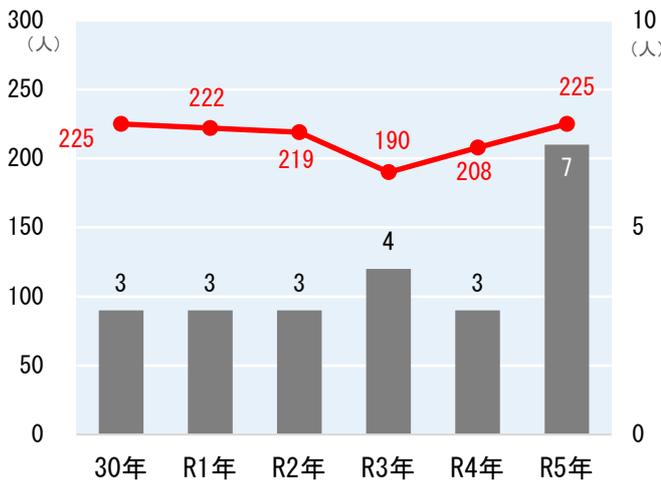
☞ 第三次産業の労働災害が50%を占めています。

製造業



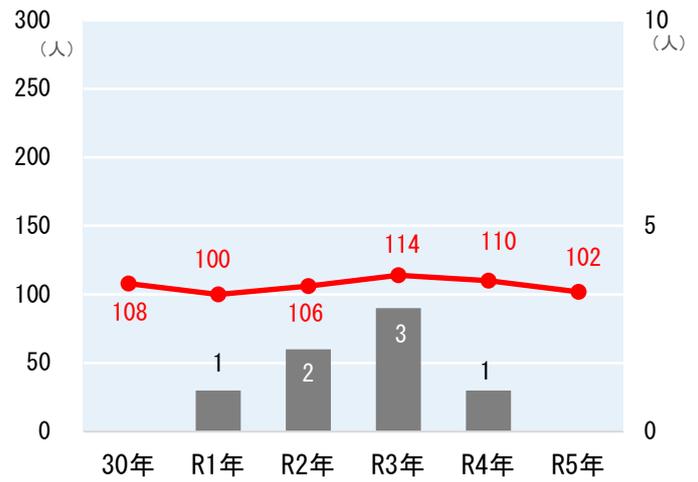
☞ 死亡災害が4件発生しました。
☞ 死傷者数は2年連続で増加しました。

建設業



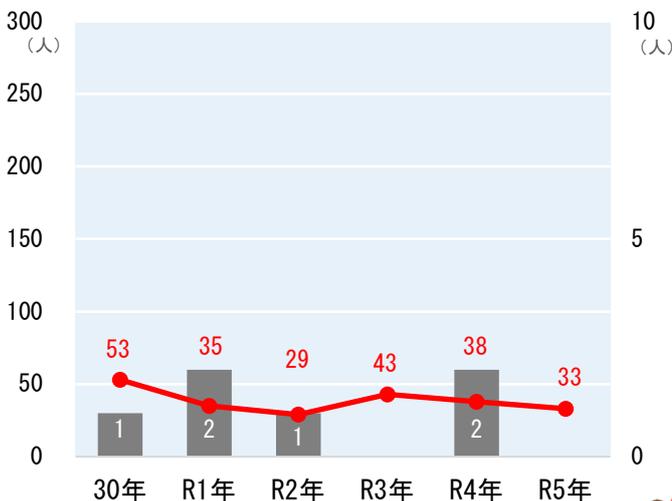
ココがPoint!
☞ 死亡災害は7件発生しました。
☞ 死傷者数は2年連続で増加しました。

陸上貨物運送事業



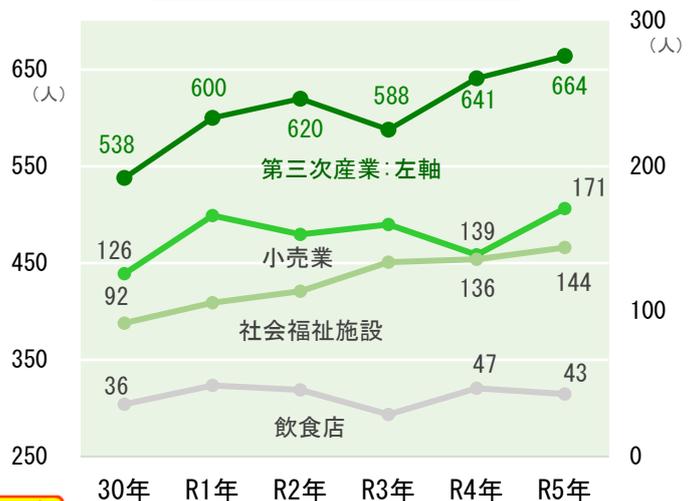
☞ 死亡災害ゼロは4年ぶりでした。
☞ 死傷者数は2年連続で減少しました。

林業



☞ 死亡災害は発生しませんでした。
☞ 死傷者数は5年間で37%減少しました。

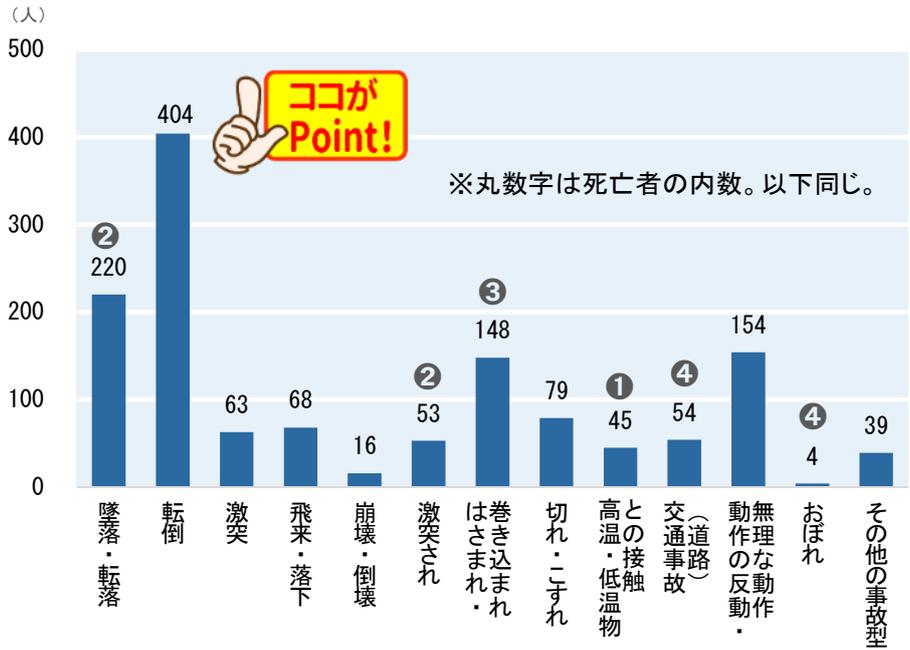
第三次産業 | 死傷者数



ココがPoint!
☞ 第三次産業の死傷者数は、5年間で23%増加しています。とくに、小売業と社会福祉施設が増加を続けています。

事故の型別

- ☞ 14年連続で「転倒」が最多となっています。
令和5年の「転倒」の割合は29.9%となっています。
- ☞ 「交通事故（道路）」、「おぼれ」で4件、「はさまれ、巻き込まれ」で3件の死亡災害が発生しています。
- ☞ 「動作の反動、無理な動作」には腰痛などが含まれています。



発生月別

- ☞ 6月に最も多く発生しています。次いで8月、11月の順に多くなっています。
- ☞ 死亡災害は6月から9月までの間に10件発生しました。



被災者年齢別

- ☞ 年代が高くなるにつれて死傷者が増えています。50代以上で全体の57%となっています。
- ☞ 死亡者は50代以上で全体の75%（12人）となっています。

